

取扱説明書(補足)

WRX700B II

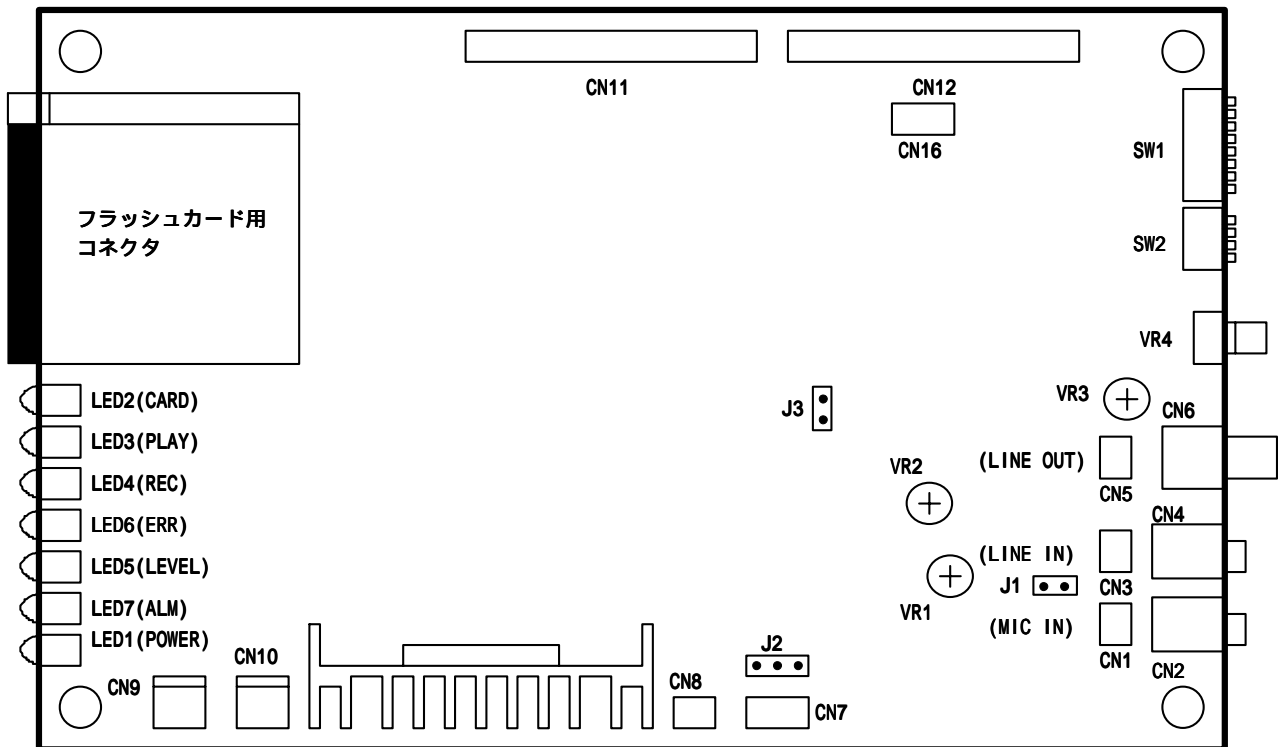
2003.09.11 A 補足

UM-WRX-B7 II-補足-A030911

1. 変更・追加機能

型式などは変更ありません。RS232C 回路のコネクタ有無、基板 No.で識別できます。

型式	WRX700B	WRX700B II
基板上型式	WRX-700B	WRX-700B
基板 NO.	Rev.B	Rev.D
RS232 回路	×	○



【コネクタ(ピンアサインメント)】

CN No.	用途	表示	I/O	説明	備考欄
CN16	RS232C	1	TxD	送信データ	オプション
		2	RxD	受信データ	CK-W2RS
		3	GND	信号用 GND	

(自社製作する場合)

CN No.	基板側コネクタ仕様	ケーブル側コネクタ仕様	適合コンタクト
CN16	日圧/B3B-EH	日圧/EHR-3	BEH-001T-P0.6

(注) 適用線材はコネクタメーカーデータシート参照

2.再生モードの設定 【MODE1スイッチ 再生モード】

1	2	3	4~8	再生モード	概要
	●	●		7 RS-232C 制御	255CH 再生専用 (注)録音制御は不可

3.再生モードの説明—RS232C 制御モード

RS232C 制御の場合、組立バッファを使用することにより、1CH(フレーム)、最大 10 データまでを組立再生できます。また、受信バッファにより、最大 20CH まで再生中でも受信できます。

- ① 再生チャンネル 1CH~250CH。
- ② <組立再生>バッファ: 1フレーム 10 データ max.
- ② <再生中受信>バッファ: 最大 20 個

再生中でも受信を行います。

再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生

受信バッファがフル(満杯)で以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。

外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。

通信条件

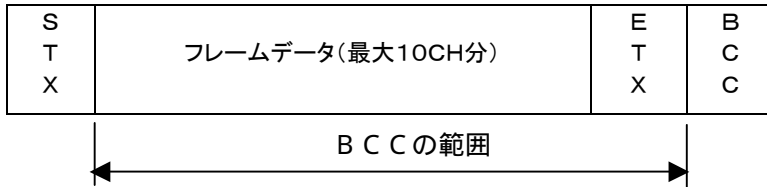
通信方式	非同期式 全2重
通信速度	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	non
ストップ	1ビット
コード体系	ASKII

通信制御コマンド

コマンド	コード	定義
STX	02h	フレームデータの開始
ETX	03h	フレームデータの終了
ACK	06h	送信側に対する肯定的応答
NAK	15h	送信側に対する否定的応答
ENQ	05h	受信側に対する応答要求

他に強制停止(バッファリセット)コマンドとして「FFh」があります
尚、強制停止については外部STOP信号入力にて可

① フレームデータ送信フォーマット



チャンネルデータは3コードで表す

例) 1CHと125CHの表示

1(10進表示) → 001(10進表示) → 30h30h31h(コード表示)

125(10進表示) → 125(10進表示) → 31h32h35h(コード表示)

BCCの範囲はフレームデータからETXまでとする

例) 1CHと15CHと125CHを送信

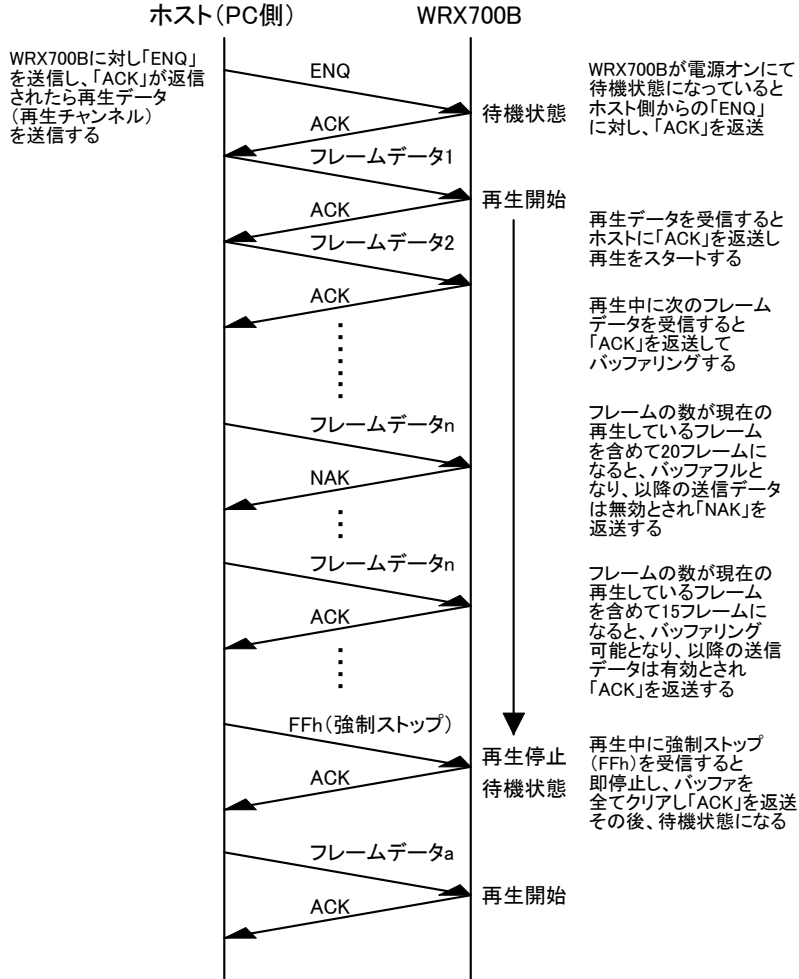
S	フレームデータ(最大10CH分)	E	B
T		T	C
X		X	C
02h	30h30h31h30h31h35h31h32h35h	03h	30h

	コード	バイナリ
1CH	30h	00110000
	30h	00110000
	31h	00110001
15H	30h	00110000
	31h	00110001
	35h	00110101
125CH	31h	00110001
	32h	00110010

BCCの算出は、バイナリに於いて
各ビットのEXORをとる

	35h	00110101
ETX	03h	00000011
BCC	30h	00110000

② 制御手順



注1. 「ENQ」を送信するのはWRX700Bが電源ONの起動時のみです。

注2. 「NAK」が返送されるのは、バッファフルの時と受信データにエラーが発生した時です。